

海岸防災林(松川浦 大洲国有林)の再生に向けた取組

関東森林管理局

被災前



先人たちが守り育ててきたクロマツを中心とした豊かな松林は、動植物が生息しやすく、人々も利用しやすい環境でした

被災後



松川浦周辺を守ってきた松林が、津波により壊滅しました。

現在の復旧状況

護岸工

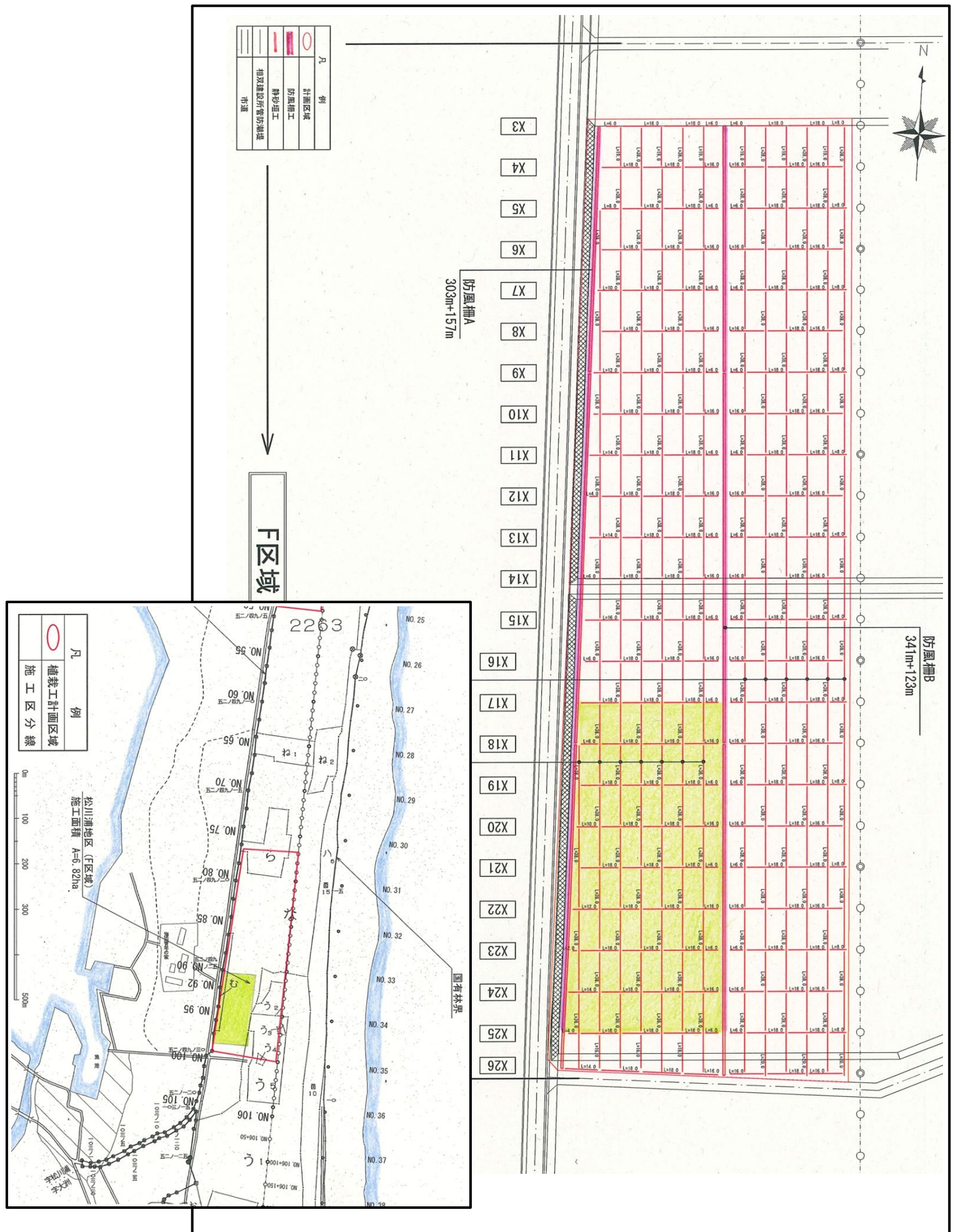


盛土工



海岸防災林の復旧に向けて、現在、防潮護岸工と盛土工を実施しています。
盛土の上には、主にマツを植栽し、以前のような豊かな松林を造っていきます。

平成26年度 募集対象箇所（黄緑色）



募集対象箇所の様子（平成26年11月16日撮影）



11月16日現在、治山事業により防風柵の設置を行っています。
今後、静砂垣の設置を行います。



防風柵（高さ：2メートル）



静砂垣（高さ：1.2メートル）



静砂垣に囲まれる広さは、約20m × 10mです。
この広さ7～8個で、募集の1区画(0.14～0.15ha)になります。

右の写真は、1m間隔で植栽した1ヘクタール当たり10,000本の密度の例です。（募集の作業条件は、5,000本／ha以上です。）